

## 体操後のおしゃべりが楽しみです 中山元気クラブ

平成27年10月に中山元気クラブが発足しました。始まったきっかけは婦人会でのお墓掃除のときに、体操の話が出たこと。体操のときに皆さんと会い、お互いの顔を見て情報交換をすることが楽しみです。集会所まで、坂道を歩いていってだけでもいい運動になります。仕事で忙しい時期はいけない日もありますが、寒い日は体操に来て体を動かしています。



体操を始めて体が軽くなり、夜もよく眠れます。また、一番の楽しみは体操後のおしゃべりです。ためになる健康についてや日常の家事の話で盛り上がります。体操を始めて地域の人とより親しくなり、身近に感じるようになりました。たまに、他の地区の人と会ったときも、体操の話ができるので楽しいです。



『体操の日が楽しみです』

うへだ かづこ  
上田 カヅ子 さん

以前は股関節が悪く、座ったり歩いたりすることが思うようにできませんでした。体操を始めてからできるようになりました。体操の日が楽しみです。「しゃんむり行かなん」という気持ちになります。体操だけでなく、家庭菜園の話なども聞けるので、とても勉強になります。グラウンドゴルフも週3回行き、健康のためだと思い、楽しく参加しています。



## できるということは『幸せ』です 中原元気クラブ

平成27年5月に中原元気クラブが発足しました。毎週月・木曜日は体操に行かんと気合いが入り、日にちも曜日もしっかり覚えています。体操を始めて3年目になりますが、当初と変わらず維持できているのは体操のおかげだと感じます。年をとると限界を感じることはあるけれど、体操を続けていると良さが分かってきます。寝たきりにならないように『元気で長生き』が目標です。



家でじっとしているより、外に出ることはいいことだと思います。朝から準備をしてサッと出てくるので、時間的にもダラダラせずメリハリができていいですよ。男性の割合も多く、何事にも協力的で優しい人が多いです。また、若いときに交流があった人とも、久しぶりに会えたりしてうれしいです。皆さんと体操ができることは、幸せなことですね。



『平均年齢は80歳!  
みんな変わらず元気です』

さるわたり としもり  
猿渡 敏盛 さん

体操を楽しみに参加しています。体を動かすこともいいですし、皆さんとおしゃべりすることも健康のため・ボケ防止だと思っています。体操を始めてよかったことは、風邪などをひかなくなったことです。体操の前に、掃除機をかけたり箒で掃いたりして準備をすることが習慣になっています。女性は朝が忙しいので、皆さんで協力することは大事だと思います。また、ある男性が朝早く来られて集会所の周りの落ち葉を掃いてくださるので、いつも綺麗ですよ。

※本事業は、介護保険特別会計地域支援事業で行われています。 問 地域包括支援センター ☎69-9760

## 町を知り、今後を考える 南関町地域おこし協力隊

南関町地域おこし協力隊の森本和臣さん(肥猪)と高橋幸宏さん(関町)は4月12日、佐藤町長をはじめ町議員や各課長などを対象に、活動報告を行いました。

同隊員は各区長へ行事や祭事などのヒアリングを行い各地区の特徴などをまとめたこと、移住定住をPRする本を作成したことなどを報告。今後の目標や行う予定のことについて森本隊員は「いろんな人と出会え、町のニーズがわかった。今後は協力隊の周知にも力を入れていきたい」と、高橋隊員は「今後は人が集まるコミュニティスペースなどをつくりたい」と述べました。

会の最後には意見交換も行われ、佐藤町長は「今後は空家対策など、行政と連携して行ってほしい」と話しました。



▶ 報告を行う隊員たち



▶ 表敬訪問した中村くん(右から2番目)

## 空手の全国大会出場 中村陽彩くん

空手の芦原会館南関支部・木村道場所属(A-lifeなんかん)の中村陽彩くん(相谷)は3月29日、佐藤町長を表敬訪問。3月31日に東京武道館で開催されたポイントアンドK.O.第33回空手選手権大会への出場を報告しました。

中村くんは平成29年12月に行われた同トーナメントの九州大会に出場。中村くんは同大会で優勝という結果を残し、大会への出場権を手に入れました。また、技術が優れている人のみ授与されるサバキテクニック賞も受賞しました。

中村くんは「1回でも多く勝てるよう頑張りたい」と意気込みを語り、佐藤町長は「自分の目標が実現できるように頑張ってください」と激励しました。



▲ 消防団員の指導を受けて、放水訓練をする新入団員

## 新入団員22人に辞令と 新しい消防車

南関町消防団

町は4月8日、平成30年度辞令交付式をB&G海洋センターで開きました。佐藤町長から新団長の上田弘久団長に辞令を交付し、上田団長から幹部15人、部長17人、新入団員22人に辞令を交付しました。

新入団員を代表として第四分団第17部の村上宏樹さんが「消防団員として火災などの災害から住民の生命および財産を保護し災害に対して心構えを持ち、規律を厳守し、一人一人が重大な責務を十分認識し、常に自ら進んで訓練や消防業務全般について研さんし、その使命達成に努めることを誓います」と宣誓しました。

この後、新入団員たちは消防署員の指導を受けながら規律訓練に取り組み、また水の勢いに負けないよう足を踏ん張りながら放水訓練に真剣な表情で取り組んでいました。

また、同日には有明消防本部南関分署の新しい消防車が披露されました。これは、地理や地形に合わせて狭い道や山道などの現場にも入るようにされており、全長約6.5メートル、高さ約2.8メートル、幅約2.2メートルとなっています。また、消防車には全国的にも珍しい消火活動用のシャワー式ノズルや、タッチパネル式の制御などが搭載され、全国消火活動の先駆けとなるのが期待されています。



▲ 南関分署にきた新しい消防車